

まどい

第 200号

秋田県羽後町仙道中学校昭和30年卒

186-0003 東京都国立市富士見台団地 3-6-404

まどい編集室

tel/fax 042-574-8694 ・ 直090-2332-4408

<http://www32.ocn.ne.jp/~madoi/>

mal:madoi30s@ce.mbn.or.jp

第三弾！ 「ごろ寝で語る会」



この、したたかな7人元気が丸出しである。飲み・打つ買う？少し違うか、飲むわけですが、中学校を卒業以来一度も連絡したこともない方の名前を書いたことです。また、いつも名前が出るのですが合ったことのない方、善吉さんなどはその一人でした。また初めて名前を書いたのが旧姓滑川好子さんでした。返信を頂いた時は感動ものでした。全員の方から返信を頂きました。ありがとうございます。出席される方も出られない方もちゃんとコメントまで書いていただいていた本当に嬉しかったです。こういうとき、幹事冥利に尽きるというのでしよう。

千葉の社長清五郎さん、一番若い！そして芸人宇之助さん、この方も若い。飲む方も一番。勝之助さんが出られず三助にならなかつたのは残念でした。しかし歌は抜群。栄治さん、私の栄治さんです。いつもニコニコ良い表情されています。いっ湘南ボーイの朝蔵さん。少し足の具合が悪いとかで杖を使っておられたようです。歌の味がまたいい

平成18年4月浜名湖。21年4月熱海そして今回10月22日・23日の土日にかけて熱海の「志ほみや旅館」に男7人が結集した。

案内を書いていて、とても嬉しいことがありました。住所録を見て書いたのですが、中学校を卒業以来一度も連絡したこともない方の名前を書いたことです。

この、したたかな7人元気が丸出しである。飲み・打つ買う？少し違うか、飲むわけですが、中学校を卒業以来一度も連絡したこともない方の名前を書いたことです。

さて、当日の出席者はほぼ予定通り。最高に嬉しかったのは、崇文さんの出席でした。彼は一時期体を悪くされてもうこういう会には出られない、出たくないとの話しも聞きました。しかし、今回一番先に出席の返信がありました。嬉しかったです。申し訳ないが想定外でした。

熱海温泉に
七
特
集
の
寒
頼
さぶらい

のは酒と薬だ。話しはそれぞれの病気のことで。ほとんどきみまるの世界だ！笑って泣いて歌って！

こういう会は、なかなか思うようには行かないのが常。前回と同じく22名の方に連絡したが、結果的には7人と。若干寂しいところでしたが少人数がまた、まとまったりで良かったのかもしれない。

参加の可否で、想定外の方も数人おられました。がやはりみなさんそれぞれ事情があったので、すから仕方ないことです。





2011/07/23 熱海温泉 志ほみや旅館

奥様の事を心配しながらも、この会のもとめ約はなんと書いてもこの方しかいないでしょう。芳雄さん。又少し細くなった様な気がした。がなんとしてもタバコがやめられないへびースモーカー。ま、急にやめるとかえってストレスがたまるからポツポツと本数減らす

か？ゼイゼイ言いながらあの歌の息継ぎはどうなっているんだ？ブルオですわね！
さてどん尻にひけえしは、尾張の爺ちゃん孝之助。最近はないないすくし、見えない。聞こえない。カネが無い。何とか出来るのはコップを持つ手だけは元氣というところか。

旅館は三年前と対して変わらさず。やはり老舗旅館の感じはいなめない。でもトイレは新しい。ウォッシュレットがついていたし、電球も切れていなかった。でもやはり掃除がいまいちかなあ。エレベーターの中の扇風機、誇りがいっぱいいついていたし、部屋の蛍光灯のひもにもホコリがこんもり。……ま、いいか老舗だもの……。料理は旨味はあったな、味は別とし

て満足か。飲み放題でやったがこれは失敗だったかも、もうみなさん従来の様なわけには行かないから。
予定金額を少しオーバーしてしまいました。みなさんに申し訳無かったです。若干の残金がありましたが、これはマドイの方に寄付と云うことでお願いします。

今回の心残りは、女性の方の参加が無かったことです。シゲさんは盛んに行きたいとの連絡でしたが女一人ではと云うことで欠席されました。宴会の時間に電話をくれましたね。残念そうな声でした。
次回がまだあるのか、今回が最後か、考えましょう。どなたかお世話を下さる方をあげてください！

平成7年の大阪では阪神大震災をよそ目に同級会。今度は東日本大震災の年。災害復興を願いながら語り合い一夜をあけて、熱海の街を後にしました。



高橋孝之助



宴会場の一万円のカラオケは痛いので止めになったが、その代わり今回の仲居さんがとてもおもしろい人で結構座の盛り上げに活躍してくれた。ついつい彼女の話に引っぱられてしまうという。宴会後のカラオケバーにも顔を出してくれて明日の朝のおかずはこれから潜って捕ってくるからと、何はともあれ明るくにぎやかが良いものだ。

今回は女性の参加が無かったのでも若干寂しいところはあったが、うまく仲居さんのプロ根性に助けられた宴会でもあったようだった。

もしかしたら

俺はここにいなかった？

「何でこんなところまで来たんだ」最初にそう恨んだものだった。おまけに喋ったことを良くもみんな「まどい」に書きやがって！。

今流で言えばセルフサービスの卒業写真アルバム。武田賢蔵先生のスナップが私たちの卒業写真でした。その中のメインである集合写真の中には、二人の欠員がありました。永井昴子さんと鈴木宇之助さんです。本来ならばはめ込みで二人の写真を入れるのでしようがその技術が無かったのか、またはすでに田代への転校のためだったのか詳しいことはわかりませんが、昴子さんも宇之助さんも同じ言葉

を漏らしています。あの写真にいないのが寂しい。



鈴木宇之助さん

同級生切っぺの飲んべえで又欠かすことの出来ないムードメーカー！民謡を歌わせたらプロ顔負けのほど自慢。浜松では宴会場にほかのお客が寄って来ると言う場面も合った。そんな宇之助さん。かつて若勢からたたき上げた根性は、揺るぎない今の暮らしを立てている。まさに私たちの誇れる同級生なのだ。

住所も教えなかったのに又電話が掛かってくるんだ、いい加減ほおって置いてくれと言いたかった。「だがなよっちゃん。あんたがこうして誘ってくれなかったらおれ一生みんなに会うこともなく、こうして同級会にも出てくることも無かっただろうよ、2年の時に田代へ行ってしまったんだからな。

俺は仙道中学校の卒業生では無いんだから」誰がなんと言っても今おれはあんたや孝ちゃんに感謝してるよ。

老舗旅館

さて、前回の「ミズ猿」と同じ宿になったのはあ

えて同じところの方が宿のスタッフとのなじみも出来るのではどの思いもありました。満点とは言えないが何か落ち着くものを感じていたのかも知れない。

この宿「老舗」とは一

にみんなで「老舗だなあ」と言う。「尾崎紅葉筆塚の宿」とは書いてあるが創業年も沿革も何も



て感じが良かった。それで安いかというところでもない。前回の後にリニュー

ない。

前回汚れたシュータンやベニヤの天井、切れた便所の裸電球、ガタビシとする鉄骨のサッシなどなどしなびた感じが我々に「老舗」と言う言葉を

分でもないから不思議なものです。

も床の間の飾りなどはとても気持ちがいい。でも分でもないから不思議なものです。

大友清五郎さん

今回は誰が来るだろうと楽しみにやってきた。被災地大船渡から女性達におみやげまで買って来たのに。誰もいないなんて、残念だなあ……。



大友朝蔵さん

3. 11東日本大震災では、津波が来そうだからと避難指示が出ちゃっておおあわてだったよ！まさかここまでとは思わなかったから。



土田栄治さん

今度は何をやっているかって？今は「折り紙」を始めているよ。暇なもんだからよ。うんにゃ売ることなどかんがえてねえ。



今福崇文さん

あいやーみんなに心配かけてしまったな。町の役などみんなおろして貰ったよ。体の調子も良くなかったな、今のところノンビリしているよ。



高橋孝之助さん

畑とゴルフで足腰がぎしぎし言ってるよ。この前はホールインワン達成、保険から賞金が出るんだけど、決まりの表割分けで赤字になりそうだよ！



「まどい」 もうしばらく おつきあいで下さい

編集室だより

全国の同級生のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。今年平成23年も残り少なくなってしまいました。

私たち後期高齢者と言われるにはもう少しあります。72歳という年齢は隠しようにもなく、そしてこれまでの疲れや、高齢者特有のいろいろな病気はこれも隠しようもありません。風の

頼りに寄りますと入院中だという菅野義吉さん、佐藤宗夫さん佐藤正二さん。一時期入院したが今は家で療養しているという井上文子さん。持病を抱えて難儀している岩崎稲子さんや辻本あい子さん、

土田栄治さん上原和雄さんなどみなさんそれぞれが何らかの病気を抱えて頑張っています。

そう言う私は至って元気なのですが、今は妻の介護で毎日家にこもっています。武田勝太郎さんにしても奥様の看病の日々を過ごしています。

さて「まどい」も二百号に至りました。かつて二百号を目指してと張り切っていました。その後には「私たちが年老いて動けなくなったとき、そこに届く」「まどい」はどんなにか慰めになりあるいは力になるだろうかと思うようになってきました。しかし私編集者の不勉強や力不足からこれを満たすものになり得ていないことがとても悔しく思っています。元々そんなに大それたものでは無かったのも確かですが、57年の歳月を踏んできた「まどい」は、長い時間の割に成長し切れなかったのかも知れません。それならば初期にみなさんが言われたように「力のある限り続けよう」として運が良ければ「中卒60年の還暦同級会」が出来るかも知れません。

菊地帛子さんが言っていました。「まどい」はあなたの人生かもと。

ご支援ありがとうございました。

菊地 帛子様
園部 敏子様
飯塚 和雄様
吉田 ささ子様
大友 好文様
今福 崇治様
土田 栄治様
大友 清五郎様

「保存版同期会アルバム」

「断捨離」という言葉はご存じかと思えます。文字通り、断つ、捨てる、離す。その手始めとして写真がありました。もてあますほどの同級会の写真。この際写っているみなさんに頭を下げながら処分することにしました。そのさみしさを癒すために作ったのがこのアルバムです。最初からの集合写真すべてを収録して60ページにまとめました。手作りですがほしいと思われましたらご連絡下さい。おわけします。



実は自分でもそう思っているところでした。孝之助さんが言いました「頑張っ続けると言いたいが、あんたでなければ出来ないことだから無理

はするな」って。おかげで続けようとの決心が出来ました。もう少しおつきあいをお願いします。

芳雄

編集手帳

若い頃「光陰矢の如し」といふなど一人前に口にしてきましたが、この年にいたって実感として感じるようになって来ました。動作も鈍くなっているしそんなに急ぎたくないのですが、時間ばかり早く進んで行きます。十月は熱海で同級会が行われました。家を空けられず世間に整理を欠いている私何とかがみなさんに会えることが出来ました。

東北関東大震災から8ヶ月今なお行方不明が三千六百五十二人（十一月十一日）と言われます。待つかまくらとどってどんなに辛いことでしょうか。更に原発の放射能問題では突然に生活を奪われるという異常な暮らしを強いられています。文明が生み出した悲劇なのかも知れませんが、一日も早い復興を望まずにおれません。

みなさん自分の体をいたわりながらお暮り下さい。お元気で新年をお迎え下さい。